

日仏共同研究 が始まります

日仏二社会の珪肺・アスベスト疾患 空間的マッピングと人文学的研究

日本側参加者

松田 毅（代表者）
（神戸大学人文学研究科）
村山 武彦
（早稲田大学 理工学術院）
中谷 友樹
（立命館大学歴史都市防災研究センター）
毛利 一平
（（財）労働科学研究所）
油井 清光
（神戸大学人文学研究科）
藤木 篤
（神戸大学人文学研究科）

フランス側参加者

JOBIN Paul
（パリ デイドロ大学）
THOMANN Bernard
（パリ デイドロ大学）
ROSENTHAL Paul-Andre
（国立社会科学高等大学院）
THEBAUD-MONY Annie
（国立社会科学高等大学院）
DAUBAS-LETOURNEUX Veronique
（パリ 第13大学）
DEVINCK Jean Claude
（国立社会科学高等大学院）

「倫理創成プロジェクトの一環として、平成20年度秋より22年度末にかけて、学術振興会とフランスANRとの二国間交流事業共同研究として、日本とフランスの研究者の以下の共同研究が行われます。この研究は、

- 1.日本とフランス、二つの社会の比較研究の観点
- 2.GIS (Geographical Information System) を用いるマクロな自然科学的手法と聞き取りを基盤にしたマイクロな人文学的方法の比較統合の観点
- 3.珪肺・じん肺と中皮腫という研究対象の比較の観点
- 4.リスクに関する自然科学的認識と社会的評価の比較と統合の観点

から日本とフランスの地理学者、疫学者、哲学者、社会学者などが共同で、公害病や産業病の問題解明の研究を行います。市民参加の形で日本とフランス、特に神戸大学でも研究集会を開催していきますので、関心のある方はぜひご参加ください。なお、研究集会の詳細等は、倫理創成プロジェクトのHPで随時お知らせします。